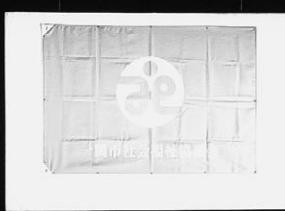
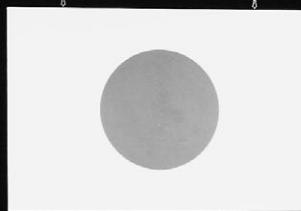


第4回 一関市社会福祉大会

講演

「高齢化時代を生き切る」

医療法人三秋会
理事長 長澤茂氏



第4回 一関市社会福祉大会

健康で生きがいを持ち、安心して日常生活を営むことができる福祉社会の構築を目指し、7月29日一関市文化センター中ホールを会場に市民約450人が参加し開催しました。

一人ひとりが福祉の担い手であり、又、受け手であることを確認し、基本理念である「支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし」の実現のため、一層の努力を誓いました。

大会宣言

時代は今、大変革期を迎えております。

合併以来、人口が減少し続けているなかで、高齢者人口は増加し、高齢化率も上昇の一途を辿っています。

一方、都市化の進展は地域コミュニティを崩壊させる方向で作用しており、高齢化の進行と相俟って、新たなコミュニティ形成のための仕組みづくりが求められてきております。

社会福祉協議会は、「支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし」を基本理念に、地域福祉活動を開催しております。

市民が、住み慣れたまちで、健康で生きがいをもち、安心して暮らすことができる地域社会の実現は、私たちの願いです。

今日ほど、地域社会の福祉力を高めていくことが、強く求められている時代はありません。

地域で暮らす一人ひとりが、受益者に止まることなく、地域社会のためにできることを、率先して実行していくことが求められております。

私たちは、福祉の担い手であると同時に、福祉の受け手であることを確認し、次の事項を重点に、福祉のまちづくりに邁進してまいります。

- 1 住民による福祉活動の推進と地域ネットワークの確立に努めます。
- 1 介護保険事業のサービス提供の充実と運営強化に努めます。
- 1 ボランティア意識の高揚と継続的参加活動の推進に努めます。

以上、本大会において宣言します。

ふれあいネットワーク
いのせき
社協だより

第12号

(2009年9月30日発行)

第四回 一関市社会福祉大会

第四回 一関市社会福祉大会 被表彰者

(敬称略)



* 記念講演の抄録をご希望の方は、
社会福祉協議会にお申出下さい。

採択されました。
員が大会宣言を提案し、満場一致で

第四回一関市社会福祉大会は、安心して日常生活を営むことができるよう、関係機関と一体になって福祉社会を構築していくため、福祉関係者、市民約四五〇人の参加を得て開催されました。

開会に当たり大澤社協会長が、「時代は混迷期を迎え、将来への展望が立ち難しくなつてきています。加えて経済の低迷や高齢化の進行は、新たな福祉課題を生んでおりますが、それへの対応が次第に困難になつてきつあります。今、我々一人ひとりにとつてできることとは何か、いかにシンプルな生活を構築し

ていくべきか、ということが求められてきているのではないでしようか。今まさに「幸福とは何か」を真剣に考える時なのかかもしれません。本日の福祉大会が、ご参会の皆様方の人生にいささかなりともお役に立つことを念願します。」と挨拶しました。

表彰は、福祉委員、民生児童委員、民間社会福祉施設役職員、ボランティア活動功労等の方々に表彰状、福事業、共同募金への寄附個人・団体に感謝状が、家庭介護者の方に褒賞状が贈呈されました。

記念講演では、三秋会理事長長澤

茂氏が、「高齢化時代を生き切る」と題し、スライド上映しながら、事例や病気の予防策などを紹介し、「生きるために富士山の何百日辺りに自分が位置しているのかを把握しておくことが必要です。そして静かに下山してきてこそ生き切ったと言えましょう。一日一日を無駄にしないように心懸けながら、他人のために少しでも役に立つ人生を送りたいものです。」と結びました。

最後に、魚住昭子千厩支部運営委員が大会宣言を提案し、満場一致で

大	花	（1） 社会福祉協議会関係功勞 (社協会長 表彰状) (通算8年以上在職)
岩及加東支	須増小熊佐佐阿鈴小泉熊熊佐千小佐石熊小鈴石佐小高伊	
正尚	野野野野野	
司亮助	渕川藤部竹藤子寺谷藤藤部木寺部谷谷藤葉寺藤川谷寺木川藤岩泉藤	
一嘉志	正國勇隆謹仁嘉政勝正利	
之夫	健男男雄男衛一造一道美郎夫雄	

1.	（1） 社会福祉協議会関係功勞 (社協会長 表彰状) (通算8年以上在職)
川崎支	佐藤伊藤鈴木
三浦	藤文宏藏男
正五津	助惣之助
吉郎昭	市助藏男

大	花	（1） 社会福祉施設の職員 (社協会長 表彰状) (通算10年以上在職)
川崎寿松会	大東支	
大菅	川崎菊池	
葉千厩寿慶会	佐々木原洋七	
松山原昭一	正清頼雄	
一郎	二郎子男雄	

2.	（1） 民生児童委員功勞 (社協会長 表彰状) (通算8年以上在職)
川崎支	佐藤伊藤鈴木
三浦	藤文宏藏男
正五津	助惣之助
吉郎昭	市助藏男

3.	（1） 民間社会福祉施設 関係功勞 (社協会長 表彰状) (通算10年以上在職)
川崎大菅	川崎菊池
寿松葉山原昭一	佐々木原洋七
千厩松山原昭一	正清頼雄
一郎	二郎子男雄

4.	（1） ボランティア活動 関係功勞 (社協会長 表彰状) (10年以上的活動)
川崎支	川崎小村柴加高岩松石
三浦	小東支野田藤橋本田川
浦	小野寺田藤橋本田川
祥	郁安あ俊百紘幸
子	子子み彦人美浩子

（2） ボランティア活動 功労 (10年以上的活動)	
川崎支	川崎小村柴加高岩松石
大菅	小東支野田藤橋本田川
葉山原昭一	小野寺田藤橋本田川
一郎	郁安あ俊百紘幸
吉	子子み彦人美浩子

5. 共同募金運動関係

(1) (社協会長表彰状)
共同募金運動功労
(8年以上的活動)

熊佐千小藤佐高石佐小近高那伊
野 谷藤葉寺原藤橋川谷寺木葉川藤岩藤泉須藤
典正初國鎌俊勇隆謹仁孝嘉政勝正和利
男男雄男徳衛成一造一一子道美朗武夫弘雄

代を生き切る」

(社協会長
理事長
長澤茂氏)



室 鈴遠加根鈴佐伊高鈴山岩岩吉小藤及菊藤小星加千伊松
支 部 東 熊 大
木藤藤部木藤藤橋木部渕渕田寺田川池森寺 藤葉東井部谷
佑義定 時惣文宏孝 一正經孝君 正重雅尚泰
之 一人一 市助雄藏男 雄司夫巳男亮謙一男雄助孝孝昭 健

6. 福祉事業への寄附

(1) (社協会長感謝状)
福祉事業への寄附
(10万円以上の寄附)

花 小芳佐熊菊加小東山小佐高佐菅渡菅小泉小香齋
支 野 野支野林藤
山賀藤谷池藤山部戸寺藤橋藤原邊原寺部
大 一 関 支 部 原
憲 光 和 公タミキキ 義孝正 清憲(光月)溫夫
ワ功助勲博純行 實征雄子子茂幸行人 敏寿子
大 一 関 支 部 原
花 千廄マランツ社員会

川崎支
伊三三
藤浦浦部
正五津
吉郎昭

7. 家庭介護者褒賞

(社協会長
褒賞状
(8年以上的介護)

川崎支
東北郵便局長協会
一関第三部会
本部
一関建設組合
一関地区保護司会
第19回チヤリティー
踊りの会実施委員会
山一建設株式会社
法泉寺寒修行団
大 一 関 支 部 団 体
部
10万円以上の寄附

川 菅三廣橋松菊崎西日中菅根鈴鈴小佐熊伊菅小山
室 野々佐野野々佐野野地谷部
原浦長本岡地部城下地原部木木寺寺木谷東原寺部野地谷部
春啓秀幸和政 一文ふき和 三 篤講國知久彰孝 節宣充
治一一志男男 彦夫子子 夫隆次一夫明雄夫夫 子子子

8. 中央共同募金会会長感謝状・感謝状

川崎支
東北郵便局長協会
一関第三部会
自 市役所職員一同
千廄支
松山
瑞雄
一關支
部
市民芸能まつり実行
委員会
大 一 関 支 部 团 体
部
10万円以上の寄附

川 東 千廄 大 花
崎 小山 佐々木 佐佐二階 三菅 小さく佐熊阿菅中佐
室 野寺 部 葉藤堂浦原沼寺部谷藤部原島木藤
原浦長本岡地部城下地原部木木寺寺木谷東原寺部野地谷部
春啓秀幸和政 一文ふき和 三 篤講國知久彰孝 節宣充
治一一志男男 彦夫子子 夫隆次一夫明雄夫夫 子子子

自 市役所職員一同
千廄支
松山
瑞雄
一關支
部
市民芸能まつり実行
委員会
大 一 関 支 部 团 体
部
10万円以上の寄附

東山支
部
羽根折沢自治会
大 一 関 支 部 团 体
部
千廄支
部
千廄町ゲートボール
有限会社
瀧屋
大 一 関 支 部 团 体
部
千廄支
部
千廄町ゲートボール
ラブ
一関ライオンズク

会チャリティーバザー
実行委員会
一関信用金庫本店
信友会・しあわせの会
一関市ゲートボール協会
北上製紙株式会社
曹洞宗第七教区寺族会
西光寺
連合岩手一関地区協議会
東北日本電気労働組合
式会社・NEC東北
産業システム株式会社
一関信用金庫駅前支
店・信友会・上ノ橋
通り信和会
一関ライオンズク
ラブ
一関ライオンズク
ラブ
千廄町ゲートボール
瀧屋
大 一 関 支 部 团 体
部
千廄支
部
千廄町ゲートボール
ラブ
一関ライオンズク



大会宣言

平成21年度

敬老会

「健康と長寿を
お祝いしてく

多年にわたり、社会に貢献された
きた高齢者の方々（対象者八十歳以上）
を敬愛し、健康と長寿を祝う敬
老会は、「敬老の日」の前後から十
月にかけて、各地区で開催され
ています。

今年の招待者数は九月一日現在一
二、六八八人で、八十八歳の米寿は、
六百三十四人で、招待者数が五百九
十三人、米寿が二十二人昨年より増
えております。

各地区とも、式場や公民館等で開
催されており、福祉活動推進協議会
や自治会など住民のみなさんの企画
運営で進められ、参加者は歌や踊り
で楽しい一時を過ごしました。

各地域の開催日	
一関地域	12日から24日
花泉地域	20日
千厩地域	2日から20日
大東地域	8日から11日
東山地域	13日
室根地域	6月から11月
川崎地域	19日



大東町曾慶地区



千厩町奥玉地区



平成20年度 川崎会場風景

社協ふくし祭り 「ゆいっこ広場」 in 花泉

～心のつながりを大切にする
まちづくり～

平成21年10月18日(日)
午前10時開会
会場：花泉総合福祉センター

各種コーナー

もち振る舞い／太鼓披露（老
松先人顕彰太鼓）／福祉作文
表彰・発表／お遊戯発表（い
ずみの森幼稚園、涌津保育園）
／子育てサロン体験／レク
リエーション体験／介護予防
教室体験／高齢者擬似体験／
炊き出し訓練／バザー（日用
品等の販売）／本のリサイク
ル／むし歯相談／介護用品展
示・説明／ふれあい野菜市／
各種屋台コーナー（わたあめ、
焼きそば等の販売）／お樂し
み抽選会

皆様のご来場をお待ちして
おります。

社協ふくし祭りを平成21年10月18日(日)
花泉総合福祉センターを会場に
開催します。

多くの方にご来場いただき、
地域の福祉活動をもつと身近に
感じてもらう機会にしたいと
思っています。
当日は、市内福祉施設や婦人
会、ボランティア団体等多数の
協力団体のもと、趣向をこらし
たコーナーを設営いたします。

地域での暮らしを考える

五回連続講座 《共同企画》

第二回講座は、七月十八日に「健康を保つための生活の秘訣」と題する斎田英治氏の講演からはじまりました。

「銀も金も玉も何せむに勝れる宝、子にしかめやも」という山上憶良の歌がありますが、「子」を「健康」に置きかえてみてはいかがでしょう。病気というのは、私に言わせれば生き方の間違いということができるので、人間の脳は旧皮質と新皮質から成り立っている。旧皮質は動物も有しており、旧皮質の命するままに生きているとストレスは生じないが、

新皮質が旧皮質を押さえつけすぎるとストレスが生じる。

時代は、治療から予防へと変化している。成人病→生活習慣病→メタボリックシンドromeがそれである。運動は翌日に疲労が残らない程度に行う。ウォーキングで言えばキロ十キロほど歩く。食事は何でも適度に摂取する。神経伝達物質をつくるのに動物性タンパク質は欠かせない。洋食化が進行しているが、みそ汁も大切だ。

- 講演及び実践事例発表の抄録を希望の方には、無料で配布しております。(お問い合わせ先は一関公民館です)
- 第一回及び第二回講座のDVDの貸出しを行っております。ご希望の方は社協までお申出下さい。



ストレスは意欲や快感に関連していく必要なものだが、余分なストレスは健康を阻害するので排除する必要がある。
一 右脳を積極的に活用する。
二 生活のリズムを確立する。
三 自律神経のバランスをはかる。
四 筋力を鍛える。このことにより代謝が促進される。
五 自分の言葉で話す。借りものの言葉で話さないということだ。気安く自己評価しないこと。
六 挨拶をする。感謝の気持ちで暮らす。感謝の気持ちで暮

き・未来塾」として一関地方振興局を中心立ち上げた。
最初は「提言」からはじましたが、提言に終わらせることなく、今できることは何かを考え、実践計画を樹立し、実践することとしている。このことにより課題解決の面白さや実践のノウハウが身につき、地域活動に活かされていく。平成十八年から二十年までの間に学習に参加した者は八十七名である。

「全国わんこもち大会」や駅前地下道イメージアップ企画「地下道30%」などは、このような協議・検討の中から生まれたもの。未来塾のねらいはイベントをおこすことではなく、地域課題解決のための人材育

～共同募金運動をご協力お願いいたします～

赤い羽根共同募金

(十一月一日から)

この募金は、民間の福祉施設や社会福祉協議会などの福祉団体、ボランティアグループなどを議論し、提言するとともに、自ら実践し、今後の当地域の発展に寄与することを目的とする。

平成十七年に「きらめき・ときめき・未来塾」として一関地方振興局を中心立ち上げた。



この募金運動の一環として新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、又、豊かな地域社会を構築していくため、今年も歳末たすけあい運動を展開いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

共同募金運動の一環として新

地域活動団体紹介

菜の花ふれあいの会

急速に高齢化しつつある地域の実状に鑑み、奉仕の精神に基づいて、会員相互の支え合いを基本に、平成三年に会を結成しました。

高齢者や障害者、子育て世帯などを対象に、家事や子育ての支援を行っています。掃除の手伝いや買い物の手伝いが年間を通じて多く、除草や送迎がそれに続きます。

利用料金は一時間五〇〇円で、料金を設定したのは会員相互の精神的負担感の解消がねらい。会員の内訳は、支援を受ける会員四十七人、支援をする会員約十人、両方会員七十人で合計百二十七人前後です。

事業を円滑に推進するため毎月理事会を開催するとともに、先進地視察、実技研修、ケース研究会を行っています。又、会員相互のみならず老人福祉施設へのボランティア活動も行っています。

会の立ち上げが早かつたのですから、いろいろな方面から注目をされたものです。悩みは会員の高齢化で、七十一才以上が七〇%を占めています。今後とも会員相互のふれ合いを大切にしながら、自分たちでできる範囲で一生懸命支援活動を行つ

て参りたいと考えています。(会長談)
事務局 一関市総合福祉センター内

東山支部 やまや元気サロン

合併時まで活動実績のなかった、市町村の話を聞き、立ち上げるべく地域に働きかけを行つてきました。最初に誕生したのが平成十九年五月で、現在東山町内十二ヶ所で活動を展開しています。

東山町長坂の「やまや元気サロン」は、平成二十年四月から活動を始めました。東山中学校付近の地区で、山谷自治会館で月に一回十時から十二時まで、六十五歳以上の方々が一回当たり二十人くらいの人数で、看板どおり元気に楽しいひとときを過ごしています。当初は参加者十名・世話人五名でしたが、現在は参加者二十五人・世話人七名の大所帯になりました。

活動内容は主に、室内で出来る軽スポーツ(インドアローンボールズ、輪投げ、吹き矢、ダーツ等)・レクリエーション(草津音頭で手遊び、かるた取り、じょんけんペタンコ、グーパー遊び等)・にぎにぎ体操・三味線の伴奏での民謡や踊りの教

室・料理講習などアクティブで多彩です。年に一回は日帰りで温泉にかけるのも楽しみです。男性の参加者も多く、弾けた笑い声の絶えない明るいサロンです。活動の最後に持ち寄りの自慢料理をつまみながら来月の開催日を決める間にぎやかこの上ありません。

『葦牙』の舞台 —室根—

記録映画「葦牙」は七月十九日、一関文化センターで、又八月二十三日には大東コミュニティセンターで上映されました。

中心テーマは児童虐待で、三日に一人の子どもが命を落としているという今日的な課題に正面から取り組んでいます。

みちのくみどり学園は創設当初は虛弱児施設でしたが、時代のすう勢により登校拒否児を受け入れ、そして近年は虐待児童が過半を占めるようになりました。

吉田さんは、一人ひとりが太鼓を構成する一片だという。勝手な行動をすれば太鼓は完成しないと協調を諭します。

吉田さんとみちのくみどり学園との関わりは昭和五十九年からはじめます。平成七年には地域は勿論、北は北海道から南は千葉県まで、有志五十数名の協力を得て、太鼓練習場兼合宿所を建設し、地域で子ども達を迎えるようになります。そこは水道、電気は無く、しかしながら風呂、トイレ、かまども備えている。必然的に子ども達は水汲み、食事の準備、薪割り、トイレの清掃等役割を考えながら行動しなければならない。

吉田さんは「一人ひとりが自分の役割をはたすこと、みんなが気持



ち良く楽しく過ごせる。太鼓の演奏も同じ」と語ります。

完成した太鼓演奏は村の自然の中で響きわたる。演奏の指導も先輩、後輩の間で進められていく。心が一つになつていい過程で努力は報われていきます。

地域活動支援センター

工房こんどう虫

障がいをもつ仲間が軽作業や、オリジナル製品の作成等社会参加を目指し、町内外のイベント等に参加し、

コーヒーショップ、売店の開設、絵手紙作成体験講習など頑張っています。地域の方々と交流する活動も行っています。

お正月のミニ門松、交通安全のお守り、通所している方が書いた絵葉書などの作品は道の駅「かわさき」でも販売しています。

今年度からは、市役所川崎支所、農業活性化センターのトイレ等の掃除を市から請け負うなど、活動の幅を広げています。

また、川崎町内での植木の手入れ、花壇の草取り、お墓掃除などの作業も受けております。料金など詳しいことは、お気軽に問い合わせください。

新しい製品の開発、作成にもチャレンジしております。お見かけの際は、どうぞお買い求めください。

電話 ○一九一—四三一四七三三
(FAX兼)



一関市社会福祉協議会は、ボランティアに対する関心を高めるため、中学生、高校生を対象に『夏体験・ボランティアスクール』を開催しています。
十九年度まで一関支部で開催していった講座を、二十年度から全支部へと広げ、展開しています。八月一日(日)から八月七日(金)の六日間を、初日に開校式・講座、二日間を支部のふれあい体験学習、最終日は閉校式の日程で実施しました。

今年度は、高校生十七人が、市内

夏体験・ ボランティアスクール

かわら版



手話講習会を開催

いちのせき障害者生活支援プラザでは、障がいをお持ちの方の相談に応じています。

そのほかに障がいの理解を深めるため、手話講習会やふれあいボウリング大会を実施しています。

手話講習会は今年も八月二十二日から十月三日まで七回の日程で開催しています。

この講座は講義と実技を組み合わせた内容で、一関聴覚障害者協会から講師を迎える。障害のしくみや、聞こえない人たちの暮らしについて学び実際に指文字や手話を使い名前を伝えたり、伝言ゲームをしながら聴覚障害者の人たちと交流をしていきます。受講者のみなさんは手話に触れるのが初めての方々ですが、皆、以前から手話に興味があつたという方が大半で、笑いの中にも真剣さが伺える受講風景です。



まごころ寄附

平成21年6月～平成21年8月

こころから
お礼申しあげます。

本 部

花巻市幸田	絵手紙でボランティア蠟灯の会 代表 遠藤 市子様	15,000円 絵手紙56通
一関支部		
山目字才天	紫津喜の会 会主 柏木 貞子様	100,000円
一関市	厳美渓レストハウス様	17,555円
一関市	どんぐりの会様	26,906円
水沢区西上野町	高柳 太一様	50,000円
東五代	安東 光昭様	100,000円
萩荘字小萩	高橋 通夫様	3,000円
一関市	一関地区保護司会 第20回チャリティー踊りの会実施委員会様	100,000円
	匿 名	30,000円

花 泉 支 部

油島字北堀越	田野崎常志様	50,000円
油島字要害	小野寺一之様	100,000円
金沢字新田	千葉 和好様	100,000円
涌津字下原	菅原 恵子様	100,000円
金沢字鹿ノ鼻下	菅原 道洋様	100,000円
金沢字大柳	阿部 武子様	100,000円
涌津字館	佐藤 逸子様	100,000円
花泉字館前	瀧澤 邦仁様	100,000円
花泉町 花泉ダンス同好会 会長	阿部すみ子様	10,000円
油島字貝鳥	佐藤 勝則様	100,000円
花泉町 花泉まつり実行委員会様		16,706円
永井字漁師沢	渡辺 斎司様	100,000円

大 東 支 部

摺沢字柄折沢	佐藤 佳子様	50,000円
摺沢字礼田	菊池 昭吉様	20,000円
大原字久保堰	伊東 昭吾様	30,000円
摺沢字新右エ門土手	松川 淳様	30,000円
曾慶字小森	藤原 裕也様	30,000円
渋民字佐野脇	佐藤 公昭様	50,000円
猿沢字宿通前	菅原 洋一様	50,000円
猿沢字大久保	菅原 啓好様	50,000円
摺沢字羽山前	佐々木すげ子様	30,000円
大原字猫ノ沢	伊東 功様	30,000円
猿沢字山崎	小野寺 孝様	30,000円
大原字払川	菊池 勝人様	50,000円

千 扈 支 部

千厩字町	永澤 達子様	200,000円
千厩町	宮川久美のピアノを聴く会様	5,000円
千厩字上駒場	千葉 信一様	20,000円
千厩字下駒場	ソニーイーエムシーエス(株)千厩テック様	車いす1台
千厩字下駒場	ソニーイーエムシーエス(株)千厩テック 「たんぽぽグループ」様	車いす1台
	匿 名	20,000円

東 山 支 部

長坂字町	藤原 冬雄様	50,000円
田河津字紙生里	那須野元弘様	50,000円
松川字三室平	松岡ひろみ様	100,000円
田河津字田ノ萱	佐藤 邦彦様	50,000円
長坂字長平	吉田 文昭様	100,000円
長坂字西本町	鈴木 正敏様	100,000円
東山町	田河津婦人会(会長 小野寺克子)様	48,426円
長坂字西本町	藤川光一郎様	100,000円
宮城県利府町	岩渕 仲様	オムツ・パット・ リハビリパンツ等78

室 根 支 部

室根町折壁字聖沢	千葉 清喜様	50,000円
津谷川字中磯	鈴木 常夫様	30,000円
矢越字曲谷	小山 英治様	30,000円
折壁字横欠	小松 七郎様	50,000円
折壁字絵岡下	藤代 明彦様	50,000円
津谷川字下川原	畠山シェリーテー様	30,000円
折壁一丁目	鈴木 英樹様	30,000円
矢越字萩倉	小山 梅雄様	20,000円
室根町 室根ライオンズクラブ 会長 及川 豊様		50,000円
室根町 一関市ゲートボール協会室根支部 支部長 千葉 繁美様		20,035円

川 崎 支 部

門崎字官紅	小野寺清男様	50,000円
薄衣字諏訪前	佐藤 勇三様	100,000円

○ 一関市社会福祉協議会職員採用試験

◇ 受験資格 —— 社会福祉士（登録見込含む）又は社会福祉主事（取得見込含む）で普通自動車運転免許を所持している者

◇ 第一次試験 —— **11月15日(日)**

◇ 受付期間 —— **10月1日(木)～10月23日(金)**

◎問い合わせ先 —— 一関市社会福祉協議会総務課

TEL 0191-23-6020

<http://www.ichinoseki-shakyo.com>

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

<http://www.ichinoseki-shakyo.com/> E-mail: info@ichinoseki-shakyo.com